



ふたばの教育

特集 ふたば生徒会連合



特集

双葉8町村中高生が共に取り組む

ふたば生徒会連合



▲ビデオ会議の様子



▲日本赤十字社へ募金を寄付



ふたば生徒会連合
担当委員長
佐々木 徹
(川内村立川内中学校長)

各校の生徒会
活動の紹介

生徒会連合はふるさと双葉の 未来のために活動しています

ふたば生徒会連合は、2017年に発足し、双葉郡8町村各中学校の生徒会とふたば未来学園中学校・高等学校の生徒会で構成されています。それぞれの学校、一人ひとりの力は小さくても、生徒達が主体となって活動し連携・協力し合うことにより、大きな力となって、双葉郡ふるさと創造学サミットの一部企画運営や地域の復興・魅力の発信など、他地域には見られない先進的な取組を行っています。

今年度の活動

今年度は、コロナ禍の中、ふたば生徒会連合の活動も大きな制約を受け、対面での活動は行うことができませんでした。しかし、生徒会連合ではこれまでもオンラインでの会議を行っていたため、ビデオ会議での話し合いやビデオ交流等で活動を継続することができました。

8月に予定されていた「双葉郡中高生交流会」は実施できませんでしたが、オンラインでもできる活動のアイデアなどを出し合いました。ユニークなアイデアが数多く出され、11月にはオンラインでの新聞作成ワークショップを行いました。7月には、生徒からの呼びかけで、生徒会連合として九州地方を襲った豪雨に対する募金活動を行いました。オンライン開催となった双葉郡ふるさと創造学サミットでは、オンラインで多くの学校が参加するという難しい状況の中、オープニングやクロージング、グループ共有の運営・進行をスムーズに行うことができました。

困難な状況においても、様々な活動をとおして、生徒一人ひとりの大きな成長を感じることができました。今後も生徒会連合の活動を継続することにより、双葉郡の教育の充実と魅力の発信につなげていきたいと思ひます。

なみえ創成中学校生徒会



開校して3年目です。現在は生徒会専門委員会として、ボランティア委員会と給食委員会があります。また7月は豪雨災害義援金への募金活動にも小学校の児童会とともに一生懸命取り組みました。



葛尾中学校生徒会執行部



定期的に生徒会企画を行っています。コーンホール大会(左写真)や映画鑑賞会などを実施し、お互いのことをよく知る機会にもなりました。また、学校行事の運営に携わったり、募金活動や生徒会新聞発行などにも一生懸命取り組んでいます。



双葉中学校生徒会



「地域への感謝の気持ち」を合い言葉に、本校のすぐ隣にある熊野神社の境内を全校生徒11名で落ち葉掃きボランティアを行いました。



大熊中学校生徒会執行部



いじめ未然防止活動として、年度当初に目標を立て毎日反省しています。また、先生方と一緒に赤い羽根共同募金活動にも取り組んでいます。



富岡第一・第二中学校三春校生徒会



エコカップ運動を通じてSDGsに積極的に取り組んでいます。毎月1000個を目標に頑張っています。4ヶ月で約5000個が集まりました。



富岡第一・第二中学校生徒会



生徒会が発案した企画を、全校生徒15名で取り組んでいます。今年度は応援団を結成し、三春校の新人戦の激励会を遠隔で行いました。



川内中学校生徒会



自慢の活動は、生徒会総会の時に行っている「学校討論」です。一つの議題について、全校生徒で意見を出したり考えたりするのが魅力です。



檜葉中学校生徒会本部



全校生の意見を反映させた生徒会主催の「ドッジボール大会」。感染症対策をとりながら、バリエーションも工夫して楽しく行いました。



広野中学校生徒会執行部



元気で活気のある学校を目指して、本校の伝統であるあいさつ運動を毎朝行っています。明るいあいさつのおかげで、一日気持ちよく過ごすことができます。



ふたば未来学園中学校生徒会執行部



学校生活に関するアンケートや週に1度のミーティングを実施し、その内容を生徒会ホワイトボードで全校生に発信しています。よりよい学校にするために、活動の見える化に取り組んでいます！



ふたば未来学園高等学校生徒会

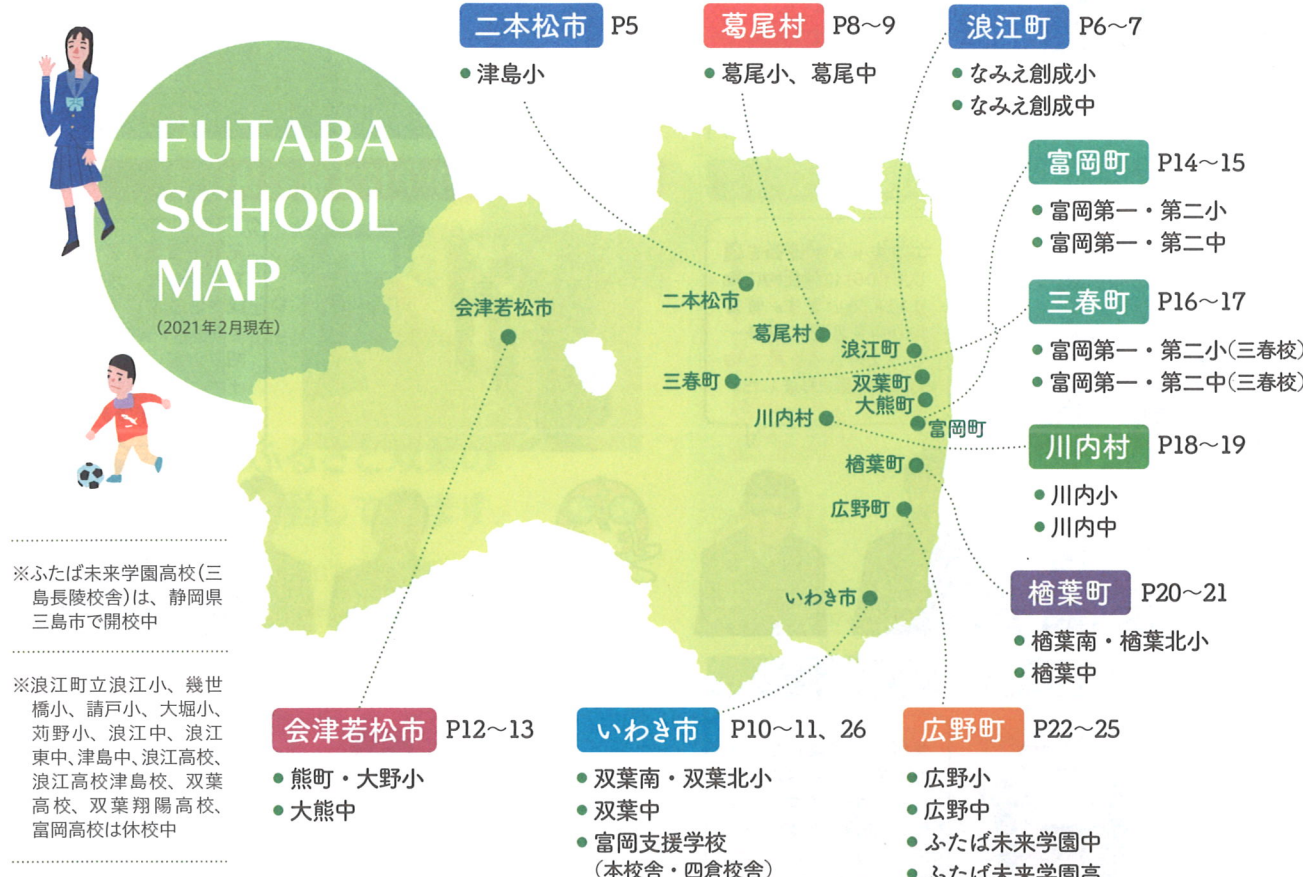


コロナウイルスの影響もあるなか、学校を少しでも明るくする活動を増やしていきたいという考えからイルミネーションの設置を行いました。



ふたばの学校のいま

東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故から10年。双葉郡8町村には、それぞれの町村に戻って再開した学校があれば、未だに避難先の地域に残る学校もあります。状況は各町村で異なりますが、それぞれ、日々の学びや活動に活発に取り組みながら、町村や世代の垣根を越えてつながって、子ども達の未来を切り拓く力を育てています。



※ふたば未来学園高校(三島長陵校舎)は、静岡県三島市で開校中

※浪江町立浪江小、幾世橋小、請戸小、大堀小、苧野小、浪江中、浪江東中、津島中、浪江高校、浪江高校津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校は休校中

震災後の双葉郡の学校の歩み

2011年3月	東日本大震災発生・原発事故により避難指示発令	2015年4月	広野町にふたば未来学園高等学校が開校
2011年4月	熊町・大野小学校、大熊中学校が避難先の会津若松市で再開	2016年4月	津島小学校が避難先の二本松市で再開
	川内小学校、川内中学校が避難先の郡山市で再開	2017年3月	浪江高校、浪江高校津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校が休校
2011年8月	浪江小学校、浪江中学校が避難先の二本松市で再開	2017年4月	檜葉南・檜葉北小学校、檜葉中学校が町内で再開
	広野小学校が避難先のいわき市で再開	2018年4月	なみえ創成小学校・中学校が町内で開校
2011年9月	富岡第一・第二小学校、富岡第一・第二中学校が避難先の三春町で再開		葛尾小学校、葛尾中学校が村内で再開
	富岡第一・第二小学校、富岡第一・第二中学校が町内で再開	2019年3月	幾世橋小学校、請戸小学校、大堀小学校、苧野小学校、浪江東中学校、津島中学校、浪江中学校が休校
2011年10月	広野中学校が避難先のいわき市で再開	2019年4月	広野町にふたば未来学園中学校が開校。新校舎が完成し、中高一貫校になる
2012年4月	川内小学校、川内中学校が村内で再開	2020年3月	浪江小学校が休校
	富岡支援学校がいわき市で再開	2021年3月	津島小学校が休校(予定)
	檜葉南・檜葉北小学校、檜葉中学校が避難先のいわき市で再開		
2012年8月	広野小学校、広野中学校が町内で再開		
2013年4月	葛尾小学校、葛尾中学校が避難先の三春町で再開		
2014年4月	双葉南・双葉北小学校、双葉中学校が避難先のいわき市で再開		

次ページより各校の特色ある活動の紹介とともに、今年度の各校におけるふたば創造学(※)の取組、そして、子どもたちの笑顔をお届けします。

※「ふたば創造学」とは、双葉郡8町村が連携して取り組む、地域のひと・もの・ことを題材にした探究的な学びの総称です。子どもたちの主体性・協働性・創造性を伸ばし、自ら未来を切り拓く力を育むのがねらいです。

浪江町立津島小学校

<https://namie.fcs.ed.jp/> ● 二本松市下川崎字三島台1

ふるさとなみえ科 総まとめ!

浪江町立二本松再開校としてラストイヤー…「なりたい自分に向かってのしく学ぶ子ども」を重点目標に教育活動を行っています。



▲二本松市の方との交流プログラム：グラウンドゴルフ体験。



▲10年分の感謝を伝えるプログラム：浪江各地にちなんだ種目を設定した最後の運動会。



▲極小規模校対策プログラム：近隣の小学校との学習交流(マラソン記録会)。



▲達成感を味わうための克服型プログラム：学校応援の会の方と一緒に登った安達太良山登山。



▲ふるさとなみえ科発展プログラム：文化歴史の地会津学習旅行。



▲極小規模校対策プログラム：町内のなみえ創成小学校との行事交流。



▲浪江町の方との交流プログラム：食文化体験学習=紅葉汁の行事交流。

今年のふるさと創造学では 「ふるさとなみえ科」10年間の学びの歴史をまとめ、未来に残すための取組をしました。

活動その1 「10年間ふるさとなみえ博物館」づくり

▲館長の初仕事。県立博物館学芸員さんと考えた新博物館の使命。

▲みんなに協力してもらい、カッコいい看板ができそう。

▲県立博物館を見学し、展示パネルづくりに挑戦。

▲いよいよ展示作業を開始。

▲運動会で地域の方へ博物館について中間発表。

▲中間発表では、多くの方が運動会休憩時間に見学。

活動その2 「なみえっ子カルタ」を巡る浪江町探検

▲春。請戸川リバーラインは桜が満開。

町のみんが買い物をしてたサンプラザがなくなってさみしい。

▲夏。請戸漁港で漁協職員さんにインタビュー。

シラス漁が再開し、請戸漁港の人たちもみんな元気で楽しそう。

▲秋。苧野地区の標葉神社で津島出身の宮司さんと偶然出会う。

たくさんのお会いがあった浪江町探検だったなあ。大聖寺、ありがとう!



地域と共に 未来へ羽ばたく なみえ創成!

創成の子ども達だからこそ創り出せる「学び」「楽しさ」「安心」を保護者や地域住民と共に創り出していきます。

学校行事



▲浪江町の子ども達が一度に集まる運動会は、屋内実施となりましたが、新型コロナウイルスの感染対策の中、全力を尽くすことができました!

緊張したけど、全力で走ることができました!! (小2)



▲いつもお世話になっている地域の方々へ、冬咲きの花をお届けしました!



▲体育や休み時には、校庭や体育館を走り体力を高めました。初めての持久走記録会はお父さん・お母さんが見守る中、全員が無事にゴールイン!! 新記録もたくさん出ました。



ふるさと 体験学習



なみえ焼きそばの作り方を教えてもらいました。家でも作ってみたいです。(小6)

とてもおいしかった紅葉汁! また来年も食べられたらいいな~! (小4)



▲浪江町の伝統工芸品「大堀相馬焼」を作りました。完成品は、学校の玄関に飾ってあります。ぜひご覧ください。



今年ふるさと 創造学では

「新しい町づくりの力になろう」をテーマに、浪江町で新しくスタートしたものに取り組みました。

浪江の農業



▲3年生は、親孝行豆を育てています。浪江町で代々伝わってきた伝統品種として、大切に受け継がれてきました。

浪江の観光



▲4年生は浪江町を知り、浪江町をPRするため「道の駅なみえ」とコラボして情報発信をしています。

浪江の漁業



▲5、6年生は今年請戸漁港が再開したことを受けて、漁業に注目をしました。創造学サミットでは、施設の秘密やそこで働く人々の思いを発表します。



大切に受け継がれてきた親孝行豆をもっと有名にしたいな! (小3)



缶バッジを作ったよ
こんなデザインもいかな。これをつけて浪江をPRしよう! (小4)



請戸漁港でとれた元気なお魚をみんなに食べてもらいたいな!(小5)



子ども達の生きる力と 夢を育み、地域の 未来を切り拓く学校

開校3年目、全校生徒6名で、重点目標「自分の思いや考えを広げ、ねばり強く学ぶ生徒」を目指して取り組んでいます。



▲6月に行われた植栽活動です。小学校と合同でとてもきれいに植えることができました。



▲「哲学対話」で生物の根源や学習の意義について語り合いました。



▲運動会です! 小学校と合同で体育館にて行いました。

▼「オータム・レク」では、浪江町内でエゴマの収穫体験後、エゴマ餅づくり、野外炊飯を行い親睦を深めました。



▼創成タイムの「ハロウィーンパーティ」で中学生は「オバケ役?」を演じました。



▲伝統工芸品の大堀相馬焼のろくろ体験をしました!



▲なみえあるものさがし「道の駅なみえ」で「うけどん」とパチリ!

今年ふるさと 創造学では

「わがまち浪江について知ろう・学ぼう・発信しよう」をテーマに浪江町内を自分の足で歩き、体験を含め、見聞きしたことをまとめました。



▲生徒自らが写真撮影し、紹介イラストや説明文も加えた情報発信カードを作成しました。全部で24カ所をピックアップし、それぞれ1000枚ずつ作成して、様々な方面で活用していただく予定です。

「わが町なみえ」を発信! なみえ創成中学校
福島県浪江町大字幾世橋字来福寺西 73
TEL0240-23-5336 FAX0240-23-5340
浪江町役場庁舎です。屋上のモニタメントは、「町の鳥」の
かまを飾っています。1996年(平成8年)に、現在の建
物になりました。2011年(平成23年)の東日本大震災
東京電力福島第一発電所の事故により、二本松市に臨時の
役場の機能を移し、避難している町民の支援を行っていま
した。2017年(平成29年)に避難指示が一部解除され、本
来の庁舎で業務が再開されました。役場職員は全部で171
名。現在町民は16,934人。そのうち町内に住んでいる人は
1,395人です。(2020年6月現在)



▲できあがったカードをご協力いただいた各事業所に生徒自身が持参して、その内容を確認してもらい、訂正を加え、完成させていきました。



▲1年生は「浪江を知ろう」というテーマで、「なみえ焼きそば」を作ってくれた方々と浪江町役場の職員の方々にインタビューをしました。



▲近くにある福島水素エネルギー研究フィールドに見学に行きました。世界水準の水素発電に関する研究を行っており、生徒たちも熱心に耳をかたむけていました。



葛尾村立葛尾小学校

https://www.katsurao.org/site/es/ ● 双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内 50

自分を信じて レベルアップ!

「レッツトライ!」。全校児童8名は、何事にも前向きに挑戦し、自分の力を伸ばすことを目標に様々な活動に取り組んでいます。



▲スクールフェスタは「走れメロス」を熱演しました。



▲児童会が主となり集会活動も頑張っています。



▲全校遠足では自分で釣ったイワナを食べました。

▼遠隔合同システムを用い、他校と一緒に学習しています。



▲都路小学校と合同体育を行い、交流を深めました。



▲小中合同持久走記録会ではお互いを高め合っています。



▲ふるさと納税返礼品用の段ボール箱に葛尾村の魅力を描きました。

今年のふるさと 創造学では

葛尾村の語り部になろう～葛尾村の過去・現在・未来～



▲葛尾で頑張っている人達のお話を伺いました。

写真があるとみんなにも伝わりやすいね。



▲プレゼンテーションは資料収集から編集まで子ども達が協力して仕上げました。

消防署には仮眠室が4つあるんだね。



葛尾村がもっと好きになりました。



葛尾村立葛尾中学校

https://www.katsurao.org/site/jhs/ ● 双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内 50

自ら進んで学ぶ、 葛尾中生!

今年度は、双方向オンライン授業「カツテレ」を臨時休業中や夏季休業中に行いました。目標の実現に向けて自分が深めたい学びを追求しています。



▲南三陸町で震災学習をしました。



松島で遊覧船に乗って楽しい思い出ができました。



▲修学旅行では岩手、宮城県を訪れました。

修学旅行の思い出を表現。



▲スクールフェスタでの劇の発表。



▲双方向オンライン授業「カツテレ」。



▲月曜日の朝は学習カウンセリングを行っています。



▲「先輩方からの生き方講座」を行いました。

今年のふるさと 創造学では

コロナ禍の中でも、人と人の「つながり」を大切にしよう!をテーマに取り組みました。



▲村の人との交流のためポストカードを手作りしました。



▲村民の方々に手渡しました。

みんなの笑顔が明日を創る

2014年いわき市で学校を再開し、7年目を迎えました。今年度は「みんなの笑顔が明日を創る」を重点目標に、全校生29名が夢や希望に向かって頑張っています。



▲中学生と一緒に、双葉町伝統の標葉(しねは)せんだん太鼓の演奏を披露しました。

僕たちの演奏でみんなを元気にしたいな。



▲タブレット端末機を使って、オンライン授業に取り組みました。



▲筑波大学の先生といろいろな動きを楽しむ運動に取り組みました。



▲太鼓の先生に、バチの叩き方や姿勢について教えていただきました。



▲鑑賞教室では影絵を楽しみました。



▲近くの川で、いろんな生き物や植物を見つけました。



▲近くの神社で落ち葉掃きをしました。



▲小中学校合同で、時計作りに取り組みました。

今年のふるさと創造学では

「新しい双葉町を盛り上げよう」をテーマに、双葉町の復興の様子や新たな特産品の提案等を学習しました。



▲先生方の出身地の特産品についてインタビューしました。



▲「ふるさと遠足」は東日本大震災・原子力災害伝承館とインターネットでつなぎました。

復興に向けてがんばっています。



▲サミットでは5・6年生が発表しました。



将来の双葉町はどんな町になるんだろう。

▲双葉町復興推進課の方に双葉町の復興の様子を聞きました。

離れていても心はひとつ！届けよう双葉の声を！

「自ら考え判断し、自信を持って表現する」を目標に、全校生徒11名が力を合わせて元気に学校生活を送っています。故郷の復興を願い、日々努力しています。

▶会津若松で自主研修を行いました(学習旅行:1年生)。



◀2泊3日の修学旅行に行ってきました(日光・那須:2、3年生)。



◀臨時休校中は、1日5校時オンライン授業を行いました。



▲全校生で裏磐梯にて1泊2日の野外体験学習を行いました。



▲校内レクも自分達で企画し、楽しく活動しました。



▲ボランティア活動を通して、地域への感謝の気持ちを伝えます。

今年のふるさと創造学では

私達の故郷である双葉町の名所、名店、伝統工芸や伝統芸能などについて調べ、歴史や文化を学ぶとともにたくさんの人に双葉町の魅力を伝えました。

▼双葉町の伝統工芸品「ふたばダルマ」の絵付け体験を行いました。



▲ふるさとの伝統芸能を継承するために「標葉せんだん太鼓」の練習をしています。



▲今年のふるさと創造学サミットはオンラインでの開催でしたが、とても楽しくできました。これからもオンラインでやりたいです。(2年)



▲文化祭では1、2年生で協力し、「10年前の双葉町をめぐる旅」を発表しました。



▼「ふるさと学習」の発表には、双葉ダルマさんも応援に駆けつけました。



▲全体企画では、それぞれの地域の20年後の未来を想像できて、とてもおもしろかったです。(1年)

大熊のよさを 実感し、未来を デザインしよう。

日新館見学体験、そばうち体験、もちつき会、絵本作家蟹江杏さんとの本づくり、体育館ジムでの体力向上、全校鼓笛など少人数の強みを生かし豊かに学んでいます!!



▲児童も保護者も先生も、みんなで鼓笛。みんなが一つになりました。



▲地域の方々と一緒に苗植え。今年は、県森林組合連合会長賞（熊町小）、県学校緑化推進委員長賞（大野小）をいただきました。

私のついたおもちを地域の皆さんにたべてもらおうぞ！（2年）

▼絵本作家の蟹江杏さんと巨大絵画に挑戦。私達の絵が本に…!



▶地域のそば打ち名人に教わりながら、そば打ち体験。



◀学校の近くにある日新館で、弓道を体験。

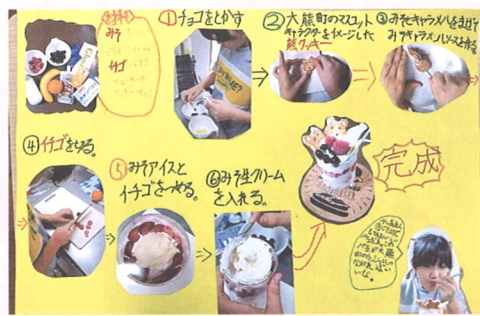


今年のふるさと 創造学では

一人ひとりがテーマを設定し、探究学習に取り組みました。



▲ガチャガチャのひみつをまとめました。（3年）



▲みそパフェのレシピをまとめたよ。（5年）



◀花火をテーマに探究学習を進めたよ。（2年）

エアコンのフィルターにも、空気をきれいにする秘密がかくされているはず…！（5年）



▲大熊の花時計を花壇に作りました！（6年）



笑顔で仮設校舎 ラストイヤー！

仮設校舎で過ごす最後の1年を思い出深いものにするために、全校生3名で日々全力投球！アーカイ部で学びを未来へつなげます。



▲待望の臨時休業明け、桜の下で再会。



▲タブレットを活用した授業を進めています。



3人で協力してスローガンやポスターを完成させました！



▲合奏や読書感想文などを発表した文化祭。



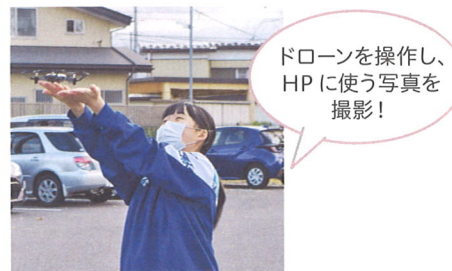
▲猪苗代ウォークラリーに挑戦！



▲心を込めて折った鶴を広島へ寄贈。



▲アーカイ部として、記録をつなげる活動中。



ドローンを操作し、HPに使う写真を撮影！

今年のふるさと 創造学では

小説やまちづくり、制服デザインを課題に設定し、探究学習を進めました。



▲大熊の最新情報をパンフレットで確認。



担当の先生と一緒に探究！



▲課題や探究方法などを中間発表。



小説を書き、200部製本！



「Sunrise」
「げよう私たちの絆と思い出〜」

▲文化祭で探究学習の成果を発表。



世界に一つの作品が完成しました！

みんなの故郷に 輝く未来を

再開3年目の今年度は全校生27人。
With コロナの中でできることを考えながら、富岡の輝く未来に向けて邁進中。



▲道徳でライブ授業。三春校の友達と意見を伝えます。



▲富岡川に鮎の放流を行いました。



▲小中合同のよさこい演舞。かけ声合わせてダイナミックに踊りました。



▲初めての学習発表会。衣装を着て一生懸命演じました。



▼バケツ稲で田植え体験。元気な苗はどれ？



▲蚕から真綿・糸取り体験。(3・4年)

今年のふるさと 創造学では

地域とのつながり、防災意識の高まり、震災前後の農業についてまとめました。

地域の収穫祭で芋掘り。
大きくてびっくりです！
(2年)

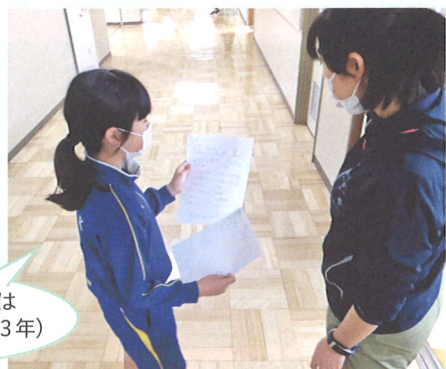


▲富岡防災キッズオリジナルのマップ作り。(中学年)



▲調べたことを細かく新聞にまとめます。(高学年)

震災が起きたときは
何が困りましたか？(3年)



▲とみおかワインの特徴が伝わる発表を考え中…。(高学年)

伝統を引き継ぎ、 新たな一歩へ！

再開から3年目の富岡校は、全校生15名。「富岡ですから！」を合い言葉に、地域の方の協力を得て様々な行事に取り組んでいます。



将来は
巨人入団と
焼肉屋開店！
(3年)

▼15名で協力して学校生活を送っています。



▲三春校との交流を深めることができました。



▲職場体験でとみおかワインドメーヌに行きました。



▲新型コロナ対策でZoomによる授業。



▲放射線教育では、測定器を使って実際に測ってみました。



▲小中合同の行事が盛りだくさん。

今年のふるさと 創造学では

一人一テーマで各自が課題を設定し、復興・再生・創生のために研究を進めました。



▲遠隔授業で魅力ある富岡町について考えました。



▲心を一つに小浜風童太鼓を演舞しました。



▲富岡町企画課の方の講話を聞いて、富岡町について知ることができました。

『富岡ですから!』
 で一致団結!

全校児童 11 名、『富岡ですから!』を合言葉に、学年の垣根無く協力し、楽しい学校生活を送っています。



▲学習発表会 合奏演奏後に「富岡ですから〜!」



▲国語科「じどう車くらべ」



▲他校と遠隔合同授業を行っています。

色々な意見を聞くことができます!(6年生)

校庭の虫より大きなあ!(1年生)



▲生活科「むしとなかよくなるう」

元気と笑顔を届けました!(3・4年生)



▲学習発表会「プライド〜富岡ですから〜」

みんなで計画したよ!(4年生)



▲学級活動「ハロウィーンパーティーをしよう」

上手に炊けるかな?(5年生)



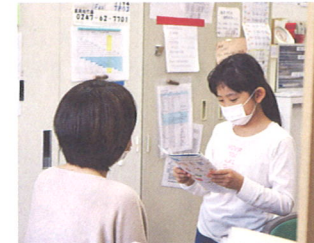
▲家庭科「食べて元気!ごはんのみそ汁」



▲「麓山の火祭り」について学びました。



▼総合学習「私たちの声を伝えよう」



▲外国語活動「What do you like?」

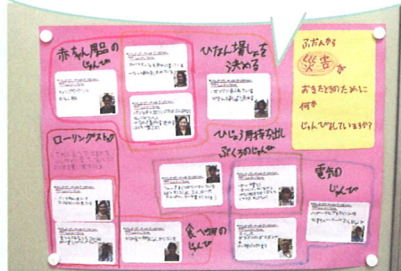


▼体育「ハードル走」

今年のふるさと
 創造学では

『思いをみんなに届けよう』をテーマに、防災や学校の歴史について学習を深めました。

様々な備えがあることがわかりました!(3年生)



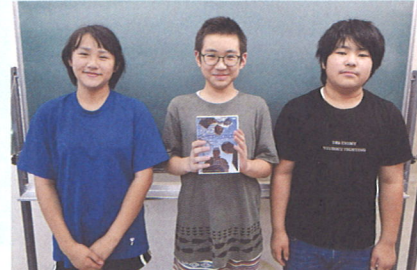
▲インタビューしたことをまとめました。(4年生)

学校の歴史を伝えるために。(5年生)



▲様々な人にインタビューしました。(4年生)

上映会を行いました!(6年生)



▲映像作品が完成しました!(6年生)

生徒と教師の
 14人15脚!!

富岡第一・第二中学校三春校は三春町にあります。2年生3人だけですが、学習や部活動に毎日一生懸命取り組んでいます。



▲夜の森の桜をバックに。



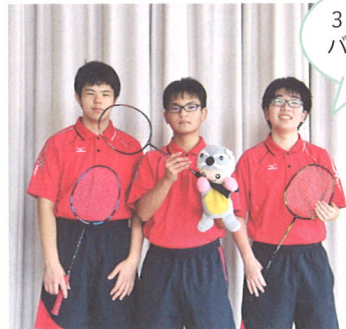
▲自主研修に出発だ!〜学習旅行(会津若松)〜



▲先生と一緒にバレーボール。(保健体育)



▲他教科の先生と一緒に実験。(理科)



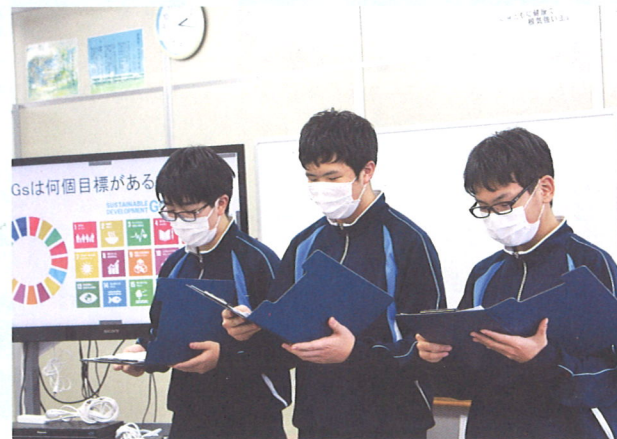
3人だけのバドミントン部。

今年のふるさと
 創造学では

「未来へ続く町づくり」をテーマに、SDGsの視点を取り入れて学びました。



▲SDGsについての発表〜学習発表会にて〜



▲サミットに向けて猛特訓!

未来へ羽ばたく子ども達に

児童数48名。子ども達は、自分で気づいたことを進んで表現し学び続ける子どもを目標に、様々な取組を行っています。



▲今年も田植えを行うことができました。



▲足が泥だらけになりながらも、頑張っています。



▲今年は無事に稲刈りができました！ ▲はせ掛けも体験できました！



▲スポーツフェスティバルで行った全校鼓笛！



▲少ない人数ながらも、頑張っています。



▲全力を出し切った、スポーツフェスティバル！



▲カメラの前でハイ・ポーズ！



▲秋を探しに天山文庫へ。

今年のふるさと創造学では

「希望の実が誕生！復興する川内村!!」というテーマのもと、農業を中心とした川内村の復興への願いを深めました。



▲副村長さんや教育長さんから復興についての話を聞きました。



▲長崎大学の方とリモートで話を聞きました。



▲色素増感電池の実験をしています。



▲調べ学習をしていくなかでの疑問点を村長さんに質問しました。



▲川内村のブルーベリーについてプレゼンを行いました。



▲実際にぶどうの収穫体験もしました。

「川内中学校」としての最後の1年…

来年度から川内小中義務教育学校がスタート。思い出の校舎ともお別れ…寂しい気持ちはありますが、未来志向、日々挑戦は忘れません！

祝 川内小・中学校入学式



▲来年度から小中義務教育学校がスタートしますが、今年度から小中、同じ校舎で活動しています。



▲小学校の学習発表会と、中学校の文化祭(清流祭)を同時開催しました。小学校1年生から中学校3年生まで、多種多様な発表ができました！



▲真夏の日照りでも、真冬の吹雪でもずっと子ども達を見守り続けてきた川内中学校の校舎…子どもから大人まで、これからも川内村のみんなの心の中に。



▲ふたば未来学園中の生徒と交流会を開きました。自分達の地域について話し合い、自分達や地域の将来を見つめ直す良い機会となりました。



▲川内村の村長さんや教育長さんと、村の現状や将来の展望、疑問点や要望など、様々なことについて話し合いました。



▲今年も「川内つながり」で川内優輝選手との交流をしました。プロとして大切にしていることなどを教えていただき、刺激的で貴重な体験となりました。



▲生徒との1000メートル対決も実現！なんと生徒が勝っていました！

今年のふるさと創造学では

地域の方々にご協力いただきながら、川内村についての映像制作を進めました。



▲映像ソフトを用いて、川内村の魅力を伝えられるような映像制作を進めています！



▲地域の方々インタビューをして、川内村の魅力を掘り下げています！



檜葉町立檜葉南・北小学校

https://sites.google.com/fcs.ed.jp/narahaminamikita-e ● 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 2-1

つながり 未来へのたすき

学び合う仲間が100名になりました。「かしこく やさしく たくましく」を合い言葉に、楽しく元気に過ごしています。



◀休校中もオンライン授業でつながっています。



▲ふるさとの良さに改めて気づいた修学旅行。



◀ピカピカの1年生。ドキドキ、ワクワクの入学式。



▶コロナ禍の運動会。みんな元気いっぱいです!



▲みんなで力を合わせてがんばった学習発表会。

今年のふるさと 創造学では

ふるさと「檜葉」の人、自然や文化、伝統を全身で感じて学習しました。



▲育てた藍の葉を使って、たたき染めをしました。



あっ!しっぽがあるかえるがいたよ。



こんなポスターを作りました!



▲木戸川でさけ魚を体験しました。



▲檜葉で作られたサツマイモの貯蔵施設を見学しました。



▲ふるさとのよさを伝える「かるた」作りをしました。



檜葉町立檜葉中学校

https://blog.goo.ne.jp/narahachu ● 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 2-1

檜葉の元気と 笑顔を全国に発信

「笑顔」の似合う檜葉中学校。キャリア教育、3Cプロジェクトでさらにブラッシュアップ。ふるさとで生きる力を伸ばしています。

「檜葉の子どもが檜葉で育つ」

東日本大震災後、いわき市湯本の銭田校舎、いわき市中央台の仮設校舎を経て、檜葉中学校は約4年前に檜葉の地に戻ってきました。新校舎のオープニングの日は玄関先で、賑やかな天神太鼓が出迎えました。

今、玄関には清水寺の和尚さんが揮毫した「笑顔」の文字が掛けられています。

3つのC(Change、Challenge、Connection)をテーマとして取り組んでいる3Cプロジェクトが、生徒達をさらに生き生きと成長させています。サッカーやラグビーも取り入れた「ヴィレッジ」での身体づくり教室、睡眠時間、スマホ疲れの目など、町の保健師さんと学校の養護教諭とのオンラインでのミニミニ健康講座、中学校と「ヴィレッジ」の栄養士同士が繋がって展開する食育教室など、充実した活動を展開しています。



生徒はその言葉通り、毎日、笑顔で生活しています。それに加えて、キャリア教育では2年前から取り組んでいる、商品開発や販売活動が順調に今年も活動を展開して、生徒達も様々な場面で活躍を見せています。



▲ビュッフェメニューから栄養のバランスを考える。



▲ラグビーの身体づくり教室。



▲サッカーの身体づくり教室。

今年のふるさと 創造学では

ふるさととのつながりを生かした商品開発と販売活動。前向きに生きる力を身につけました。



「ならSUNフェス」では、地域の方々に、生徒が考えたまんじゅうやパウンドケーキ、ハンドソープ、藍染め製品など、いろいろな商品を販売しました。マウスシールドや、フェイスシールドなど、今年ならではの装備品を装着して、販売活動を行いました。午前中で完売してしまった商品もあり、充実した時間を過ごしました。

VMD「ヴィジュアル・マーチャングイジング」とは、買いやすい売り場を作ることです。お皿や植物の配置、ポップ作りなど、陳列に向けて工夫してきました。



「販売スクリプト」とは、商品を販売するときの言葉です。お客様と店員に扮して、ロールプレイング(役割演技)をしました。照れくさからず堂々とお客様に声を掛けられる生徒が多くなりました。販売当日は自然にお客様と接することができるようになりました。



商品のパッケージデザインも、模擬会社 Nalys の新しいロゴシールも、お客様へのメッセージカードも、みんな生徒が中心になって考えました。もちろんポップも手作りです。



▲中学生が考えた Nalys の新ロゴマーク。

コロナ禍の中で、唯一の販売活動となった、ならSUNフェスの様子。



広野町立広野小学校

http://hironosyou.blog81.fc2.com/ ● 双葉郡広野町中央台三丁目1

人とつながる。地域とつながる。

全校児童155名は、学習や学校行事などで人とつながりを大切に、学びを深めています。



見学学習に来たよ。どんな工夫があるのかな。



今日は「みかんタイム」。いつも元気な「ひろのっ子」を目指してファイト!



▲「広野こども園交流会」では、園児の立場に立って活動を考え、実践することができました。



▲スポーツフェスティバルでの高学年団体競技では、カー杯演技を行うことができました。



▲伝統の演奏を披露した鼓笛発表会。どんなにたいへんでも、先輩達の思いをつないでいきます。



▲1・2年生は、生活科で「おまつり」を行いました。たくさんのお客さんに来てもらい張り切って活動していました。



▲願いをこめて、七夕飾りを作りました。たてわり班での活動が多く、みんなとてもなかよしです。



◀たてわり班で行うわくわくタイム。広野こども園の園児も加わり、楽しい活動を行いました。

今年のふるさと創造学では

広野町のバナナについて調べ、栄養がたくさんあることや紙に変身すること、環境問題の解決に役立つかもしれないことがわかりました。



▲バナナ贈呈式では、公社の田村さんからバナナをいただき、みんなで食べました。



▲バナナ園見学をしました。ハウスの中には、バナナの木がたくさん!他にも南国の植物がたくさん栽培されています。



広野のバナナは、メロンよりも糖度が高いです。



▲バナナの苗をもらい、私達も育ててみました。名前は「あまちゃん」。



▲バナナペーパー作りをしました。広野のバナナからできた紙を飾り付けしました。



広野町立広野中学校

http://hironochuweb.blog.fc2.com/ ● 双葉郡広野町大字下浅見川字築地12

町の魅力の発見・発信・創造!

全校生は68名。みんな元気で仲良く学習や校外活動に取り組んでいます。ふるさとへの感謝の気持ちを込めながら学校行事に参加しています。



1 学年

プリティッシュヒルズで異文化体験活動をしました。



2 学年



▲駅前陸橋をきれいにする活動を毎年行なっています。

3 学年



▲修学旅行として、裏磐梯でカヌー体験をしました。

全学年



▲文化祭では全学年が団結してソーラン節を披露しました。



▲東日本大震災・原子力災害伝承館での講話の様子です。



▲文化祭での3学年による太鼓の演舞の様子です。



▲「光」をテーマに全校生の願いを込めた映像作品をつくりました。

今年のふるさと創造学では

ふるさとの魅力を探る、伝える、創るというテーマで探究的な学習を進めました。

1 学年「魅力の発見」の活動



▲公園の利用者にインタビューをしました。

2 学年「魅力の発信」の活動

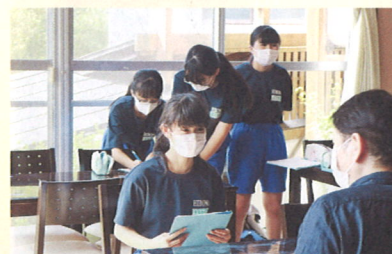


▲広野バナナの試食インタビューをしました。

3 学年「魅力の創造」の活動



▲広野町復興公社を取材し、映像作品を制作しました。



▲旅館のオーナー様に取材をしました。



▲双葉郡の食の魅力の取材や商品開発をYouTubeで発信しました。



▲広野町特産のバナナを生かした町づくりを提案しました。

未来の主人公 となる学び

開校2年目の県立中学校です。建学の精神「変革者たれ」のもと、全国各地から集まり、未来を拓く学習に取り組んでいます。



◀小泉進次郎さんを迎えて「リーダーとは」について対話しました。

調理員さんに感謝しながら毎日おいしく食べています！



▲演劇ワークショップでは、グループごとに寸劇を作り上げていきます。



▲「ふたばを知る献立」 檜葉町の鮭、ゆず、さつまいも、広野町のみかんをイメージしています。



▲台本から設定や配役を自分達で考え、コミュニケーション力をみがいています。



▲哲学対話では、学級全体でひとつの問いを深めています。



▲コミュニティーボールをもっている人しか話せません。周りの人は聞きます。

今年のふるさと 創造学では

双葉のふしぎや良さを発見し、そのことを発信するためにはどうしたら良いかを考えました。



なぜ玉ねぎを作ったのか、玉ねぎの特徴などをくわしく教えていただきました。(2年)

◀1年生はフィールドワークで、菊池製作所(旧富岡高校川内分校)を見学しました。



▲2年生が今年1年間の学びについて発表しています。



▲インドネシアのバドミントンコーチと英語で自己紹介をしました。



▲「ふるさと創造学サミット」当日、「檜葉町の温泉」について発表しました。

コロナでも 止まらない未来創造

自らを、地域を、社会を変革する「変革者たれ」という建学の精神のもと、生徒達が日々様々なことに挑戦し、学びを深めています。

初めての舞台上で緊張したけど、達成感があった！(1年)



▲双葉祭における演劇部の公演。劇中でもラップにも挑戦しました。



▲富岡高校にあった世界時計がふたば未来学園へ！止まっていた時計が、再び時を刻み始めました。



▲校内にある「Café ふう」は、社会企業部カフェチームが運営しています。

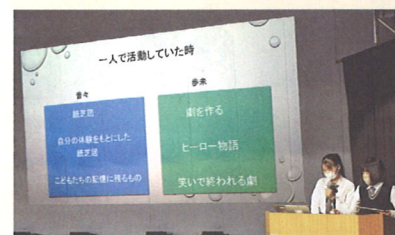


▲9月26日には菅義偉内閣総理大臣はじめ多くの方々来校。代表生徒が自身の探究活動を発表しました。

自分の思いを発表し出し切れてよかった！今後も探究活動を続けていきたい。(3年)

今年のふるさと 創造学では

専門家や地域の方々とも連携をしながら、社会に山積する困難な課題に挑戦しました。



▲9月26日に行われた未来創造探究発表会。生徒達がこれまでの探究の成果を発表する様子が、Zoomでも配信されました。



◀夜の森の桜並木をイメージし、生徒が考案した「さくらタピオカ」。若い人や他県の人にも富岡町を知ってほしいという思いが込められています。

自分と絵を描いた思い出が、学びのきっかけになってほしい。(3年)



▲国連関係者等とのオンライン意見交換。



▲生徒達の希望により、第一原子力発電所を視察しました。



▲震災の記憶を「アート」を通じて次の世代に伝える「未来プロジェクト」。



▲1年生は双葉郡・福島ならではの課題を知るために、4グループにわかれてバスツアーを行いました。

富岡漁港では船にも乗せてもらいました。(1年)





●参加者の声

発表では、最初に発声した時は声が震えたけど、調べ学習を通して、浪江町の漁業の魅力を他校に伝えられたので良かったです。(なみえ創成小)



緊張したけれど、大きな声ではきはぎと発表することができました。三春校の発表を聞いて、1年後に開校することが分かり、残りの交流でたくさん思い出を作りたいと思いました。(葛尾小)



他校の魅力、そしてふるさとへの思いが伝わりとても感動しました。(双葉中)



私たち3年生にとって、最後のサミットでした。他校の方がたくさん質問をしてくれて、嬉しかったです。とても良い経験になりました。(大熊中)



富岡町の震災前後の農業や防災の変化をまとめ、みんなに伝わるように発表しました。(富岡第一・二小 富岡校)



初めてのオンライン開催でしたが、発表はよくできました。他校の発表を近くで見ることができず残念でした。でも休み時間に交流できて良かったです。(富岡第一・第二中 三春校)



復興計画の発表では、本番ならではのトラブルやハプニングも少し起こりましたが、皆さんに村について少しは知ってもらえたので良かったです。(川内小)



練習を生かして発表をすることができて良かったです。他の学校の発表を聞いて、双葉郡にはたくさんいいところがあると分かりました。(檜葉南・北小)



各学校とも広野バナナについて調べたことや、感じたことを堂々と発表することができました。(広野中)



自分の考えを伝えることはとても難しいので、聞き手に興味をもたせる分かりやすい発表を心がけました。(ふたば未来学園中)



双葉郡内の小中学生の学びを知ることができて、とても良い経験になりました。(ふたば未来学園高校)



オンラインでつないだときは不安でしたが、発表は落ち着いてできました。参加して良かったです。(富岡支援学校)



「ふたばの教育」は、双葉郡の子どもの笑顔、各校の特色ある取組、8町村で連携した活動を伝える広報誌です。8町村教育委員会を中心に構成する「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

- 浪江町教育委員会 ☎ 0240-34-5710
- 葛尾村教育委員会 ☎ 0240-29-2170
- 双葉町教育委員会 ☎ 0246-84-5210
- 大熊町教育委員会 ☎ 0242-23-8025
- 富岡町教育委員会 ☎ 0240-23-7555
- 川内村教育委員会 ☎ 0240-38-3805
- 檜葉町教育委員会 ☎ 0240-23-5515
- 広野町教育委員会 ☎ 0240-27-4166

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局

(公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構)
〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階
TEL: 024-581-6897 FAX: 024-581-6898
HP: <https://futaba-educ.net/>

ふたばの教育 Vol.11 2021 春号

2021年2月26日発行

発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集：ICT活用・広報委員会(委員長：西丸賢(双葉町立双葉中学校長))
執筆・写真：双葉郡内各校